

紙・パルプ物流(家庭紙分野)の課題解決の 方向性等について(案)

令和3年3月

四国運輸局香川運輸支局

目次

I	ワーキンググループの実施事項	・・・	2
II	A社における改善事項検討	・・・	9
III	課題の整理	・・・	14

I ワーキンググループの実施事項

トラック輸送における取引環境・労働時間改善中央協議会

輸送品目別の取組の強化

○パイロット事業では様々な輸送品目について取組みを行ってきたが、個々の輸送品目ごとに抱える課題等に違いがあることから、輸送品目ごとの課題や実態を把握し、改善方策を検証する。

具体的な取り組み

- 荷待ち件数が特に多い分野で平成30年度に設置した輸送品目別懇談会(加工食品、建設資材、紙・パルプ)について、引き続き輸送品目別懇談会を開催し議論を行い、輸送品目に応じた課題の抽出及び改善策の検討・検証を実施
- 懇談会で得られた改善策について展開・浸透を図るべく、各運輸局単位で地方懇談会(既存の地方協議会を活用することも想定)を設置し、輸送品目別懇談会から地方懇談会への縦展開を図るとともに、地方懇談会から管内の各地方協議会に対して横展開を実施
- アドバンス事業として、地方懇談会ごとに輸送品目に係る実証実験を実施し、改善策に係る効果を検証
- 検証で得られた有用な効果について、適宜ガイドラインや事例集へ反映

トラック輸送における取引環境・労働時間改善香川県地方協議会

令和元年度香川県協議会の検討テーマ

「**紙・パルプ**物流における生産性向上及びトラックドライバーの労働時間改善」

《これまでに行った事業及び輸送品目》

・平成28年度パイロット事業(加工食品) ・平成29年度パイロット事業(建設資材) ・平成30年度コンサルティング事業(加工食品)

今後の進め方

本省レベルの懇談会から課題の発生箇所や改善策の連絡

関係者で**WG**を開催し、課題・改善策について検討

検討結果を協議会へ報告し、協議会で了承

検討事項のイメージ

- ・現在生じている課題についての関係者間の認識の共通化
- ・輸送品目ごとのサプライチェーン全体における生産性向上等に関する課題の抽出
- ・改善策について、パイロット事業により得られたノウハウも活用しつつ関係者間で検討・検証
- ・改善策についての展開・浸透

1. アウトプットのイメージ

ドライバー不足が深刻化する中、国民生活や産業活動を支える物流機能が滞ることのないよう、懇談会での議論や実証実験等の結果を踏まえ、紙・パルプ分野のサプライチェーン全体での物流改善に向けた取組を促進していくため、取組メニュー例、検討にあたっての手順・留意事項、参考となる取組事例等をまとめた『荷主と運送事業者の協力による取引環境と長時間労働の改善に向けたガイドライン 紙・パルプ(家庭紙分野)物流編』を作成。

- ・本ガイドラインについては、「ホワイト物流」推進運動とも連動して、紙・パルプの製造、卸売、小売、物流等のサプライチェーンの関係者に広く周知。
- ・本ガイドラインを活用して、来年に迫る東京2020オリンピック・パラリンピック大会期間中の対応を含め、荷主と運送事業者の協力による物流効率化のための取組の検討・実施を要請。

2. 検討の進め方

●第3回懇談会(令和元年6月25日)

- ・これまでの議論等を踏まえた現状・課題の整理
- ・今年度の進め方について

●第4回懇談会(令和元年11月19日)

- ・実証実験等の実施状況の報告・共有

●第5回懇談会(令和2年3月24日)

- ・課題解決の方向性等についての取組実施報告
- ・ガイドライン(案)の提示

ガイドラインの策定 令和2年5月29日

令和元年7月～

課題の内容に応じて、以下を実施

実証実験

課題解決に資すると考えられる取組を試行的に実施し、効果等を検証する

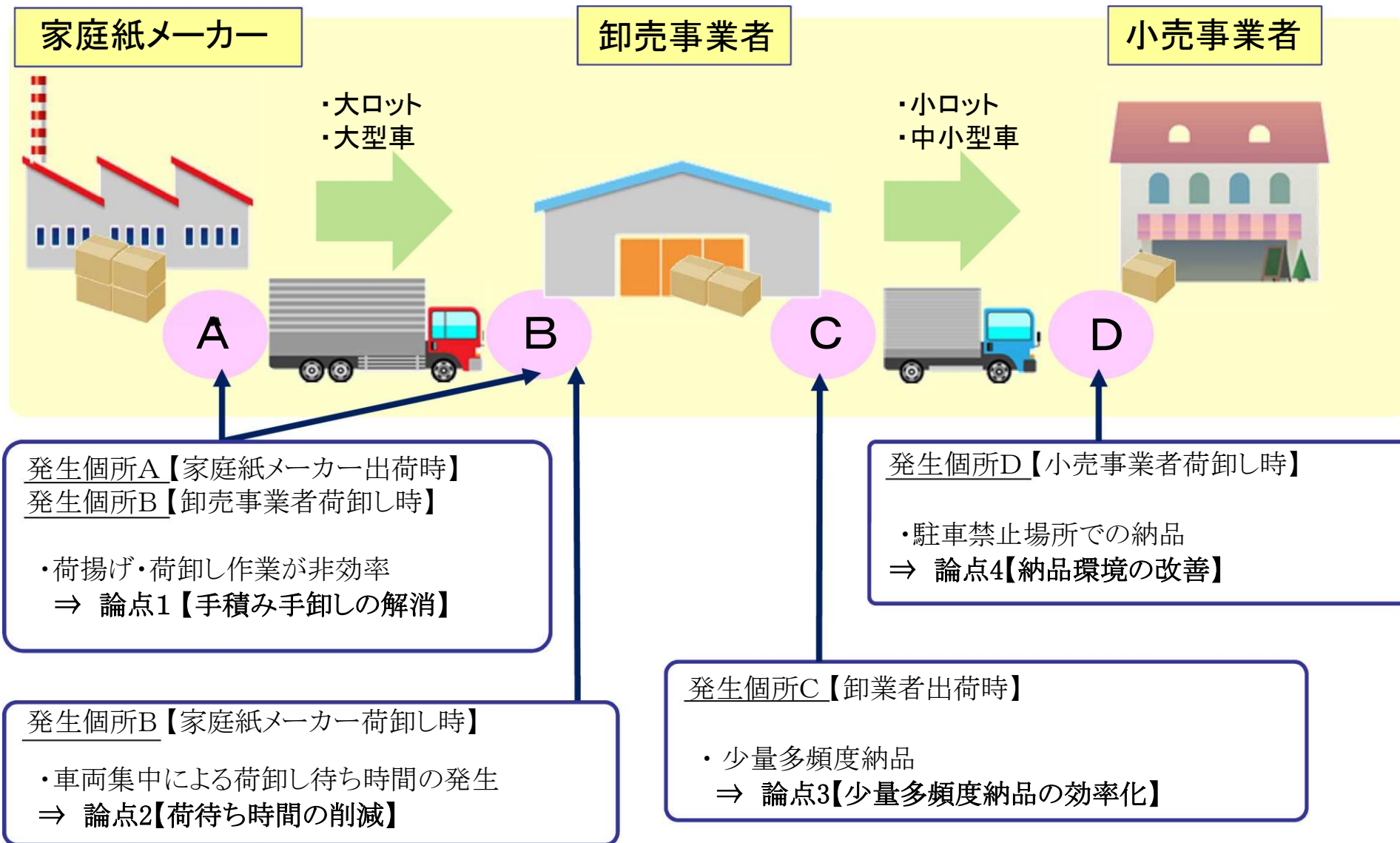
実態調査

課題の発生箇所・発生件数等の実態を調査し、課題の「見える化」を図る

ヒアリング・アンケート

先進的な取組を行っている事業者等からのヒアリングや、消費者等に対するモニター調査等を行い、取組みに当たってのポイントや課題等を把握する

反映



論点1. 手積み手卸しの解消

【実証実験】パレット導入による効果検証及び課題整理

論点2. 荷待ち時間の削減

【実態調査】日用雑貨卸売事業者における予約受付システムの効果検証

参 考（別添）

論点3. 少量多頻度納品の効率化

【実態調査】トイレトペーパーの長尺製品に係る消費者モニター意識調査

【実態調査】小売事業者等に対する「コンパクト製品」に関する実態調査

論点4. 納品環境の改善

【ヒアリング】納品環境改善の優良事例調査

【実態調査】貨物集配中の車両に係る駐車規制の見直しの取組状況

【実証実験】パレット導入による効果検証及び課題整理

目的

- ①メーカーにおいて、今後新たにパレット化を検討している製品について、着荷主である卸業者の意見も踏まえつつ、トラックへの積載効率を最大限確保できる荷姿を検討し、スムーズな本格実施につなげる。
- ②卸業者において、パレットでの納品を受け入れる場合に必要となる作業工程の変更点等を洗い出し、本格実施後にスムーズに対応できるようにする。また、パレットからの取り崩し作業が発生する場合に、当該作業を実施する者の負担をできる限り軽減する方法を検討する。
- ③トラックドライバーにおいて、従来手積み手卸しで運送していた製品をパレットで運送することで、荷積み時、荷卸し時だけでなく、トラックの回転数やトラックドライバーの運転時間にどのような効果があるかを検証する。

【実施結果】

運転者の作業時間は1運転者当たり33分の減少となるが、積込み前、積込み後の作業員の時間コスト、荷崩れしないようストレッチ巻き作業、資材費用、積載効率の低下を考慮して評価する必要がある。

- ①パレット崩し作業を実施する場合(他社パレット→自社パレット)、パレットの移替え作業時間を要するためコスト高となるが、
- ②パレット崩し作業をしない場合の作業時間は▲57%削減され、26.0分となっている。

【実態調査】日用雑貨卸売事業者における予約受付システムの効果検証

【実施事項: 予約受付システムの導入促進 等】

荷役スペースの予約受付システムを実際に導入している事例のヒアリングや、実用化されている同種のシステム・サービス等の試行等を行い、導入に当たってのノウハウや課題等について検討・整理する。

予約受付システムその他、例えば、定期的に納品するトラックについては一定期間同じ時間帯に入庫できるようにするなど、トラック事業者の事情も考慮して入庫ルールを定めている事例をヒアリング等により調査する。

導入前後の効果測定(時間削減効果)「現場受付
→バース接車呼出し」までの時間



▲30分の削減効果(2019/7)
▲41分の削減効果(2020/2)

受付システム導入のポイント

- 日用品関連の荷受け側の着荷主が相違する場合でも、同じシステムを導入することがポイント。各着荷主が相違する複数種類の受付システムを導入すると、運転者は複数の受付システムの予約が必要となり、結果、煩雑で利用が促進されない。
- 日用品業界では、同一の受付予約システムを導入するよう配慮されている。

予約受付システム導入後の課題

- 受付システムを活用し事前に予約を確保しない運転者が多い傾向がある。特に備車先の運転者にまで、予約システムによる荷卸し時間の事前確保予約が確保されていないケースがあるため、元請→下請(備車先)にも周知を図る必要がある。
- バース予約を完全自由にしてしまうと、庫内作業の効率化の観点から影響が生じてしまうケースがあった。倉庫作業員と連携を密にして、倉庫内作業の効率化、荷捌きスペースの効率化を配慮し、特定時間帯の納品の指定について検討の必要がある。

Ⅱ 香川県内A社における改善事項検討

問1. 全体の運送における紙等の運送の割合、運送区間、運送頻度は。

問2. 運送に使用する車両の積載量、荷揚げ・荷下ろしの状況(パレットの使用)は。

問3. 荷主における予約受付システムの導入状況は。

問4. その他

問1. 全体の運送における紙等の運送の割合、運送区間、運送頻度は。

- ・紙製品(ウェットティッシュ、おむつ等)の運送割合は、全体の13%~14%
- ・主な荷主は、
 - B社(2次の下請け):四国中央市(工場は観音寺市)
 - C社:丸亀市
 - D社:四国中央市
 - E社:新居浜市
- ・運送形態 運送区間 … 4社の工場~関東方面(2泊3日行程、地域により3泊4日)
 運送台数 … 1日大型車5台(3日で約15台)

問2. 運送に使用する車両の積載量、荷揚げ・荷下ろしの状況(パレットの使用)は。

- ・積載量 ウェットティッシュ(1箱当たり5~6kg)受注により1,200~1,900箱
 おむつ(10~15kg)受注により400~1,500箱
- ・パレットの利用割合…10~15%
 - ※パレット(1台当たり16枚)を利用できるのは、B社の工場~倉庫間のみしかできない。
- ・荷揚げ・荷下ろしはドライバーの手作業で、1時間半から2時間かかる。

※パレットの導入には、積載量の関係で荷主の了解が必要であること、発地・着地の両方で利用できるパレットが必要だが、発荷主と着荷主が異なる場合、両者で統一してもらえるように、トラック業者から頼むことはできない。

問3. 荷主における予約受付システムの導入状況は。

- ・予約受付システムは、導入されていない。
- ・現状 …… 物流センターでは、トラックの搬入の受付(順番取り)を午前中までに行うよう指定されているが、実際に品物を荷下ろしできるのは、受付順のため午後になる。

※大企業では、予約受付システムを導入していると聞いているが、中小企業では物流の危機に対する意識もまだ低く、また、経済的に導入することが難しい。

問4. その他

- ・前述の通り、荷揚げ・荷卸しは手作業で行っているため、夏場の作業は特にきつく、また、女性や高齢者ではできない作業だが、当社においてもドライバーの高齢化により新規採用者よりも退職者のほうが多いため、人手不足が深刻になっており、先行きを心配している。

●手積み手卸しの解消に係る改善策

- ・手積み手卸しによる乗務員の疲労軽減及び時間削減のため、パレット積み及びパレット卸しに変更するように依頼している。
- ・手積み手卸しの場合は、別途積込料・取卸料が必要であることを国主導で再度周知徹底をする。
- ・手積み手卸しの場合、それぞれの場所で人員を確保し（もしくは片方だけでも）乗務員の負担を減らし、時間短縮が可能になる。

●荷待ち時間の削減に係る改善策

- ・積込み等での特定荷主の荷待ちは減少しているが、納品先の配送センターや物流センター等の待機が常時発生している。卸時間の指定はもちろんのこと指定時間厳守のための荷卸場所の作業員増、卸場所の確保をすることで荷卸時間の短縮で回転を良くし待機時間を減少させる。

Ⅲ 課題の整理

●WGで提示された課題について、以下の通り整理したい。

課題事項	課題の内容
<p>手積み手卸の解消</p> <p>パレットによる積み卸しは一部区間のみで、ドライバーの手作業で積み卸しを行っている。</p>	<ul style="list-style-type: none">・荷主に対し、生産性の向上及び効率化のためパレット化を要請しているが、理解を得られない。・荷の積み卸しをドライバーが行っているが、その料金が支払われていない。・荷の積み卸し先で荷主側が積み卸し作業員の確保ができていない。 <p>↓</p> <ul style="list-style-type: none">・荷主に対し、切実なトラック事業の人材不足の状況を根気強く理解させるとともに、行政側もホワイト物流推進運動をさらに強力で推し進め、荷主全般の理解を求める。
<p>荷待ち時間の削減</p> <p>配送先に予約受付システムがなく、また、荷の積み卸しをドライバーの手作業で行っているため荷待ち時間がかかる。</p>	<ul style="list-style-type: none">・予約受付システムを導入できてない事業者がほとんどである。・納品先の配送センター等で待機時間が発生している。ドライバーの手作業による積み卸し、また、卸し場所が確保されていない。 <p>↓</p> <ul style="list-style-type: none">・サプライチェーン全体で生産性の向上及び業務の効率化を図る必要がある。そのためには、発着荷主とともに検討の場を設け荷主の理解を求める必要がある。